

アール ファーム
ロシア有数の製薬企業である「R-PHARM社」と
医薬品・医療機器、再生医療分野等における事業提携に関する覚書を締結

平成 28 年 12 月 16 日

富士フイルム株式会社(社長:助野 健児)は、12 月 14 日、ロシア有数の製薬企業である R-Pharm JSC(代表者:Alexey Repik、以下 R-Pharm)と、ヘルスケア領域を中心に包括的な事業提携を進めることで合意しました。

ロシアの人口は、約 1 億 4 千万人、国民の平均寿命は 72 歳です。国民が健康で豊かな生活を送るために、また生産年齢人口の維持・拡大のためにも、ロシア政府は医療サービスの充実、及び、高度化を、喫緊の課題と捉えています。ロシアの医薬品・医療機器市場は現在約 4 兆円で日本の三分の一程度であり、今後の急速な拡大が見込まれています。

R-Pharm は、2001 年に設立された、ロシア国内約 60 か所に拠点を有する製薬会社です。欧米の製薬会社等と、がん、感染症、リウマチ等、幅広い領域の新薬を共同開発し、ロシア国内で販売しています。また、子会社では医療機器を扱っており、今後、医療機器の開発・製造・販売にも注力する意向を示しています。

今後、富士フイルムは、R-Pharm と、以下のテーマを含めたヘルスケア領域で幅広く協業を進めていきます。

- ① 富士フイルムグループが有する医薬品、再生医療等のヘルスケアビジネスのロシアにおける事業展開。
- ② 富士フイルムグループの医療機器のロシアでの事業展開。
- ③ 機能性化粧品やサプリメントのロシアでの事業展開。
- ④ 上記を実現するための合併会社等設立の検討。

なお、富士フイルムグループ会社の富山化学は、2015 年に、R-Pharm の傘下企業であるトルコの製薬企業 TR-Pharm と抗リウマチ薬「イグラチモド」に関するライセンス契約を締結しています。

今般、日ロ首脳会談が実施され、両国経済協力の進展が期待される中、富士フイルムはロシアにおけるビジネス拡大を進めます。今後、R-Pharm を通じ、ヘルスケア以外の事業を含めた幅広い分野でロシアでの事業拡大も図っていきます。

【富士フイルム本社にて事業提携を進めることで合意】



左: R-Pharm JSC
代表取締役 Alexey Repik
右: 富士フイルム株式会社
代表取締役社長・COO 助野健児

<R-Pharm の概要>

社名	R-Pharm JSC
代表者	Alexey Repik (代表取締役)
所在地	111B, Leninskiy Prospect Moscow, 119421, Russia
設立	2001 年
売上	2015 年 776 億ロシアルーブル(約 1,500 億円)
事業内容	医薬品(がん、HIV、感染症、リウマチ等の治療薬)の開発・製造・販売および診断機器の販売。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

報道関係

コーポレートコミュニケーション部

TEL:03-6271-2000

その他

ヘルスケア事業推進室

TEL:03-6271-3473